



華やかな衣装と舞の美しさに、会場から大きな拍手が送られました

「日本舞踊の祭典」開催

6月10日、「日本舞踊の祭典」がウイングまつばせで開催されました（市、市教育委員会、市日本舞踊協会主催）。

これまで、各旧町単位で活動していた舞踊協会が宇城市合併を機に宇城市日本舞踊協会を発足、記念公演として今回のイベントを開催しました。

上演は、藤間流の藤間久斌さんによるご祝儀舞「七福神」で始まり、25会派、延べ80人が出演。古典の持つ生命力と創作の発展性にあふれた華やかな舞踊で800人の観客を6時間にわたって魅了しました。



市ありがとうございます 市の振興に多額のご寄付をいただきました

福岡県京都郡みやこ町にお住まいの桑崎次雄さん（84歳）が「今までお世話になった小川町（宇城市）の振興に役立ててほしい」と1,000万円の寄付をされました。

桑崎さんは、小学5年生まで小川町蛭子町に住んでいました。両親が他界後、鹿児島県の親戚宅へ。戦争（フィリピン）も体験しました。終戦後、沖縄県名護市に移り、重度障害者施設の建設に尽力。昭和58年に沖縄県知事から感謝状を受けています。

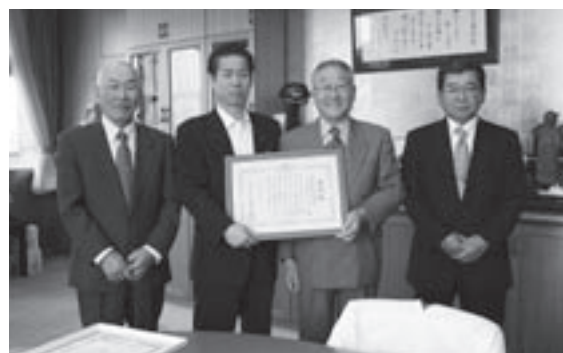
その後、福岡県京都郡豊津町（合併後、みやこ町）に移り、病院経営に着手。仕事の傍ら夜間学校に通うなど勉学に励み、医療法人慈恵睦会「八幡慈恵病院」を設立しました。現在は専務理事をされています。

市長の代理で寄付を受けた志水勉小川支所長は、「この厳しい時代に多大な寄付をありがとうございます。市民が豊かに暮せる地域づくりに役立たせていただきます」と謝意を述べました。



妻のすみ子さん（旧姓：久保）も小川町出身

住民の安全確保に貢献 災害通信ネットワークの功績に表彰



市長室を訪れた災害通信ネットワークの皆さん

特定非営利活動法人の災害通信ネットワーク（橋柿正興代表・三角町）が、多年にわたり、アマチュア無線を災害発生時に生かせるよう日ごろから通信訓練実施するなど、住民の安心・安全確保に多大な貢献があったとして、九州総合通信局長から表彰を受けました。

6月11日、橋柿代表と役員お二人が市長室に受賞の報告に来られ、「アマチュア無線は災害時や人命救助にも大いに活躍しています。交通網や通信回線が寸断されたときなどの災害発生時には正確な情報を市役所に提供してほしい」と語りました。

今回の表彰は全国でも初めて。多くの団体が視察に来るとのことです。



蓼茂会長から計画書を受け取る阿曾田市長

市効果的な農業施策を推進 市の農業振興計画書が完成

平成18年度に市長から諮問を受け、策定審議会が検討してきました農業振興計画書が、5月30日に答申されました。

会長の蓼茂寿太郎さん（県立大学理事長）から阿曾田清市長へ計画書が手渡され、「今後の農業振興に役立ててください」と力強い激励がありました。

これに対し、市長は「計画書は作成したことで終わってしまうケースが多い。計画書を点検しながら今後に生かします」と返答しました。

今後は、議会の承認を受けて計画が実行していきます。

宇城地域障害者難病連合会が発足

5月15日、宇城地域2市3町の障がい者団体と難病患者団体、関連支援事業団体が連合して「宇城地域障害者難病連合会」を発足しました。

昨年8月に発足し、活動してきた「宇城障害者自立支援法を考える会」を基盤として設立したもので、障害者自立支援法の改善・充実、難病患者に対する支援と理解を求める要望活動を行います。

会員は約1,700人。ウイングまつばせであった設立総会には関係者約80人が出席。会長には「宇城手をつなぐ育成会」会長の北島和子さんが選出され、会則などを決めました。



北島会長が「みんなで手を携え声を上げていこう」とあいさつ

交通安全ゲートボール大会



右見て、左見て、9番第1横断歩道通過！

5月29日、豊福グラウンドで、第3回宇城市交通安全ゲートボール大会がありました。開会式では80歳以上の17人が高齢者表彰を受けた後、参加者代表の藤本信一さん（79歳）が「家庭から交通事故を出さない」などと高齢者の交通安全について宣言しました。

この大会はゲートボールで健康づくりをしながら交通ルールを身につけることを目的とするため、横断歩道や安全地帯・危険地帯がある「特別ルール」。チームでルールや作戦を確かめ合いながら、14チーム80人が熱戦を繰り広げました。

《結果》優勝…東松崎
準優勝…砂川
コート優勝…島・豊崎